

「【開館50周年記念特別展】奥村土牛 ―画業ひとすじ100年のあゆみ―」特製和菓子

御舟作品の白眉《名樹散椿》（重要文化財）からネーミングされ、ロゴにも御舟の文字を使用した「Cafe椿」は、美術鑑賞の余韻のなかで、お茶とスイーツ、ランチが楽しめるカフェ。季節や開催中の展覧会にちなんだオリジナルメニューをご用意しています。

特に和菓子は、青山の老舗菓匠「菊家」に特別にオーダーした「Cafe椿」オリジナルです。また、素材と季節感にこだわった、女性にやさしいランチメニューもおすすめです。テーブル、チェア、カウンターなどは、イタリア・カッシーナ・イクスシー社に

特注し、美術館ロビーでおしゃれな佇まいを見せています。ガラス越しにまるでオープンカフェのように季節のうつろいがよく眺められる、42席の静かなスペース。お気軽にお立ち寄りください。

桜の宴 Sakura-no-Utage

咲き誇る満開の枝垂れ桜を画面いっぱいに描いた、土牛の代表作《醍醐》。やさしい色合いの春らしい和菓子です。（杏入り練切り・こしあん）



奥村土牛
《醍醐》



春のしらせ Haru-no-Shirase

土牛の自宅の庭に咲いた大輪の白椿。気品漂う花の姿を練切りに写しました。中は色鮮やかな緑色の柚子あんです。（柚子あん）



奥村土牛
《早春》



花がすみ Hanagasumi

桜にかすむ吉野山の春景色をモチーフに、華やかなきんとんに仕上げました。あんは上品な甘さの黒糖風味です。（黒糖風味大島あん）



奥村土牛
《吉野》



うず潮 Uzushio

豪快なうず潮を描いた土牛の傑作《鳴門》を爽やかな色の練切りに。白波のうずが自慢の逸品です。（こしあん）

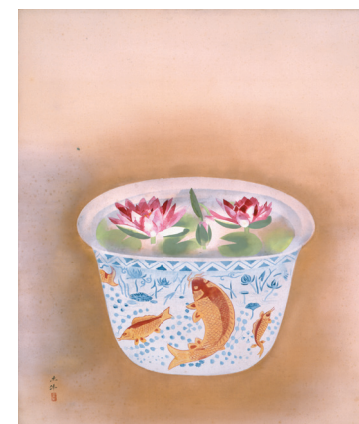


奥村土牛
《鳴門》



水のおもて Mizu-no-Omote

土牛愛蔵の鉢に浮かぶ水蓮と水面の様子を、涼やかな錦玉羹で表しました。春から初夏の季節感をお楽しみください。（錦玉羹）



奥村土牛
《水蓮》



※作品はすべて山種美術館蔵

[その他のメニュー]

- ◎ コーヒー（京都・スマート珈琲） ￥650 ◎ 抹茶 ￥750
- ◎ 丸子紅茶 ￥650 ◎ 今月のお茶 ￥650
- ◎ お茶セット ￥1,000 ◎ お抹茶セット ￥1,100
- ◎ ケーキセット ￥1,200
- ◎ 季節のにゅう麺 ￥1,250 など

和菓子のテイクアウト承ります 1個 ￥510